

Mランドニュース Vol.152

丹波ささ山校 令和元年11月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

自分のしている仕事が、
人に「感動」を与えているか。

平成21年7月22日

故小河 二郎会長 弊社講話より

フェスタへの思い

フェスタ事務局長 前川 昂希

Mランド丹波ささ山校は、今年で創立五十七周年を迎えます。

十四年前、故小河二郎会長から教えていただいた、「社会に役立つ企業」を目標に、「Mランド丹波ささ山校」として生まれ変わり、その間、多くの人々に支えていただいていることに、心より感謝申し上げます。

今年もMランドフェスタを開催するにあたり、日本各地で甚大な自然災害が発生し、繰り返し襲う大雨に、復旧のめどすら立たず、今なお多くの被災者が不自由な避難生活を余儀なくされていることを、私たちは忘れてはなりません。

水が出る、電気が通る、住む家がある、家族がいる。

今、私たちがおかれている環境が「あたり前」ではなく、「生かされている」ことを再認識できるMランドフェスタになるよう、今年も皆さんとともに開催させていただきました。

日本を美しくする会

鍵山秀三郎相談役が、

「この国をよくするのは財務大臣でもありません。国民一人ひとりの、ほんのちよっとした生き方にかかっています」と言われたことが、私の心にあります。

老若男女、一人ひとりの力は小さくても、みんなの力を合わせれば、よい波となって社会に波及することでしょう。「この国をよくする」。そんな機会になればと思っております。

地域の方々をはじめ、卒業生の皆さまによって、これまでたくさんの「感動」をいただいたMランドフェスタ。

今年も各方面の方々のご理解とご協力をいただき、一層フェスタを楽しんでいただけるよう、スタッフ一同、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



共に考えよう

共育チームリーダー 南勝 宏幸

九月二十六日(木)、丹波篠山市 長寿福祉課 高齢支援係様からのご依頼で、市の認知症キャラバンメイト三十名様に、現在、全国の指定自動車教習所で行われている、「高齢者講習」について、お話しさせていただきました。

皆さまは、日頃から認知症高齢者との関わりが深く、症状などについては知識や経験も豊富な方々ですが、今回は七十五歳以上で免許更新される方の「講習予備検査」と、七十歳以上で免許更新される方の「高齢者講習」の目的、実施内容についてご説明しました。



皆さん、熱心に聞かれました

路線バスも一日数本という地域ですので、「マイカー」というのは必要不可欠で、運転できる健康状態であれば、いつまでも運転していきたいと思うのが心情です。

したがって、九十歳代でも運転されている方がいる一方、繰り返しされる高齢ドライバーによる重大事故は社会問題となり、注がれる目は一層厳しさを増していきます。

このような悲惨な事故を無くすために、私たちも出来る取り組みを今後もしてまいります。

そうじの力

十月二十四日(木)、弊社が取り組んでいる、そうじの力全体研修を行いました。

まず、株式会社そうじの力 小早 祥一郎先生がご支援されている東京の建築会社の改善例を紹介していただきました。

住宅建築現場をご覧になられたことがあるでしょうか。鉋くず、釘やビス、電気コードが地面を這い、電動丸ノコの歯がむき出しで、床に置かれていることもあります。

それでは「素足で歩ける建築現場」を想像できるでしょうか。

この会社では、「東京一キレイな建築現場」を目標に、「素足で歩ける現場」を目指して取り組んでおられ、一日五回の掃除時間や、廃材の分別など、工夫された安全対策が随所に施されており、見せていただく映像は、どれも私たちの概念を覆すものばかりでした。



小早先生の話に興味津々です

そのあと、職員の活発な質問があり、中には「自宅の新築を考えています。こちらの地域にこの会社の営業所はないのですか」という質問も。信頼性の高い現場のようすを見た方々は、多くが現場見学会で契約をされ、この会社では「現場が営業マン」と言われ、営業職員はおられないとのことでした。

人に学ぶ

顧客チーム 長谷川 泰之

十月一日(火)、丹波篠山市立篠山養護学校に於いて、高等部の生徒さま四名と教諭四名、弊社職員の三名で、「トイレ掃除に学ぶ会」を実施しました。

進路担当の先生より「これから社会で活躍する彼らに、どこに行っても必要となる、掃除に対する姿勢について伝えていただきたい」という、熱意のあるお申し出があり、喜んでお引き受けいたしました。

当日は、少し神妙な面持ちの生徒さんに、掃除前のいくつかの注意事項をお伝えし、男女分かれて開始です。普段、出すことのない道具置場のモノをすべて出し、天井から掃き出していきますと、それだけでも爽やかな空気が入ってきます。そして、いよいよ便器磨きに入ります。磨き方の見本をお見せすると皆さん驚かれますが、すんなり自ら取り組まれましたので、私の方が驚いたほどです。

今回、印象に残ったのは、一所懸命に便器を磨く生徒さんのもとより、幼・小・中・高が合同のこの学校。校内でお見受けする先生は、一人ひとり個性を持つ生徒さんと「同じ目線」、「同じ歩幅」で向き合っておられるということです。

その姿に、教習という場で一人ひとり個性を持つゲストに、このような姿勢で向き合っていたか。自分の思いが伝わらないと「イライラ」する自分がいなかったかを、あらためて考えさせられました。

掃除の進め方を指導に行かせてもらったつもりが、大切なものを教えていただく機会になりました。掃除の終わりに先生が、「普段、見せてくれないような顔をしていました」と、優しい眼差しで生徒さんをご覧になっていました。



気持ちのよい時間をいただきました

ボランティア

十月のある日、関西学院大学四年生 林美優様、越智陽子様と、愛知県から越しの英語教師 アヌスカ様たちが滞在中に仲良くなられ、「洗車掃除に学ぶ会」に参加されていました。



人との出会いは刺激になりますね

林様、越智様は「元々英語は得意ではないですが…」と言われながらも、積極的にアヌスカ様と英語で会話され、コミュニケーションをとられていました。

ここでは、友だちになるのに、時間はいらないうです。

風に乗って

変チームリーダー 前川 昂希

十月上旬、教習コースを掃除していると、なにやら小

さなカードをみつけました。それは丹波篠山市から、はるか一〇〇キロ離れた佐用町より、風船に乗ってやってきたものでした。

小学二年生の女の子が書かれたメッセージには、私たちの心も「ほっこり」させられました。

そのカードは、記載されていた宛先のもとへ、がんばって飛んでくれた風船のおかげらとともにお送りしました。



思わぬ贈り物をいただきました

Mランドと私



所長代理 永見 倫幸

島根県益田市出身である私と、Mランドとの出会いは小学生の時でした。

当時、益田校の「Mランドまつり」は、オフロードコースで、モトクロスバイクが急斜面を駆け上がったたり、ジャンプするイベントを行なっており、私の目にはとても衝撃的にかつよく映り、一瞬で心を奪われ、私の憧れの存在となりました。

大人になり望んでいたバイクの免許を、Mランド益田校で取得しました。二輪教習はとても楽しく、何より印象的だったのは、二輪インストラクターが、いきいきと楽しそうに教習している姿でした。

私もこんな「人」になりたい、こんな「仕事」がしたい、と初めて感じた時でした。縁あってMランド益田校に入社することができ、多くの出会いが私の人生を変えました。

先輩方からは教習のノウハウだけでなく、ゲストの心とともにある、「ソウルメイト」を教えていただき、何より、故小河二郎会長からは、「何のために仕事をするのか、何のために生かされているのか」を身近で教わりました。

九年前より、私はMランド丹波さき山校に勤務して

おります。

丹波さき山校で行われるMランドフェスタでは、卒業生や地域の方々と一緒に、そうじのイベントを行います。「良いことはみんなやろう！」という思いで、スタッフ一人ひとりが熱い思いで今年も取り組んでいます。

「縁尋機妙」これからも出会いを大切に、ゲストや、地域、社会に役立つ「Mランド」をつくりまします。

編集後記

十月のある日、高齢者講習の受講に来所された女性が、杖を携え一歩一歩階段を上がっているようすを見ていた女子大生が、手を差し伸べる姿をみかけました。

これからの日本を憂いていました。が、なにやら希望を感じた日になりました。(徹)

【掃除に学ぶ会】のご案内

私たちと一緒にトイレを掃除しましょう。

11/3 (日) 八上小学校 東トイレ
(AM8:00~9:00 担当:前川)

11/24 (日) 篠山中学校 運動場トイレ
(AM8:00~9:00 担当:中野)

※参加していただける方は井本までご連絡ください。